

育ててくれてありがとう



題字・故 上野慧賢先生
発行所 駒澤大学高等学校
同窓会 正会員数 25,922名
東京都世田谷区上用賀1丁目 158-8577 TEL.3700-6131(代) FAX.3708-7291
振替口座 0018-6-61881
http://komakou-dousoukai.net
E-mail:dosokai@komazawa.net

『絆』

同窓会会長 妻倉由明



新年明けましておめでとございます。
昨年は、六十周年記念総会を開催出来たことは同窓会諸兄のご支援の賜と厚く感謝しております。総会には同窓生をはじめ、教職員を含め二百名近くの参加をいただきました。重ねて感謝いたします。
ここ数年、人と人との心を通じた付き合いが希薄になってきているのではないのでしょうか。やりとりは、メールで相手の顔が見えないばかりか気持ちも全く通わない何か冷たく暖かみのない殺風景で砂漠化している様に感じなりません。
「話をする時は、相手の目を見て話さない」と言われたものです。この言葉はもう死語となってしまうのでしょうか。
「絆」人と人との断つことのできない結びつきと辞書に載っています。
この絆を築きあげた時こそ、暖かみのある血の通った付き合いができるのではないのでしょうか。
この絆を大切に、同窓生同士の絆を深め、更に母校発展の為、活動を深めていかねばならぬと思っております。
今後共更なるご支援・ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

『文化講演会』報告



平成二十三年十月十五日(土) 天気は曇り時々雨。体育館において在校生並びに保護者三十名程臨席いただき同窓会主催の講演会が

午前九時から開催されました。
加藤寛隆同窓会庶務(四十七期)の司会で始まります。
高木恒一同窓会副会長(十六期)より、「現在の会員数が約二万六千人を数えている同窓会で、さまざまな活動の一環に、在校生を対象に文化講演会があります。今年、同窓会は、創立六十周年を迎え、その記念講演会を実施します。」と述べられ開催挨拶とされた。
鈴木貞雄校長(特別顧問)より、「この同窓会主催の講演会はいつも学校祭の第一日に開催されていたが、今年は本校の開校記念日に講演できた。」と述べられ祝辞の挨拶とされた。
講演会は、お招きした名波浩氏と水内猛氏とのトーク形式で行われた。
サッカー部の部員数・成績など会場から聞き取りして舞台との溝を埋めながら、名波氏の経験・体験したエピソードが続いた。
高校越境通学でサッカー漬けの下宿生活と優勝がもたらした苦労話、プロサ



ツカー時代の話し、日本代表として敵地アウェーでの受難話し、「なでしこジャパン」の初優勝で観戦して感じた話し、イタリア・ヴェネツィアに移籍でコミュニケーションがいかに大切かの話し、自分が左利きでこの右利き社会でどう生きたかなど、サッカー人生を今までしてこれからも続けて行く自分が、何を伸ばして来たか、マイクを通して会場の生徒に話しかけていただいた。
開始から一時間あっという間のトーク談話が終わり、続いて会場から挙手で選ぶ方法と事前に集めた質問状の中から選ぶ方法でそれぞれ五人質疑応答をした。
最後に名波氏から、「サッカーの審判Aクラスを取得済みだが、その上のSクラスも得た暁にはプロサッカーの監督になり活動の場として行きたい」と抱負を述べられた。
会場からの拍手と生徒代表の感謝の花束とお礼の言葉で締めくくりました。
文化講演会に対し、教職員の皆様のご協力に感謝し、ここに無事執り行われたことを報告します。
掲載写真は、講演会終了後の名波氏と鈴木校長のツーショットです。(あらい)

創立六十周年記念総会報告

永年勤続者贈呈を受けられて

生物・化学担当 鈴木貞雄

創立六十周年記念総会に祝辞を申し述べる機会がありましたのでその内容を含め、感謝の意とさせていただきます。

同窓会から永年勤続の記念品を頂き、しっかりと持ち帰らせて頂きました。ありがとうございました。

当日、校長室のドアが開いた。「覚えていますか」面影ある顔、はつきり当時が蘇った。教師冥利に尽きる思いである。勤続四十年になるが、昨日の出来事のような思いがしたのは不思議である。勉強はしないし、悪いことばかりして、顕微鏡を悪戯して叱られましたと話すのは一人ではなかった。私のことを「ミトコン」と言われたことも懐かしい。万感の思いである。

現在ではどのように感じていられるか。建学の理念である「行学一如」、修学そのものが生きることと学ばれました。その実践的綱目は「信・誠・敬・愛」、「信・誠」はともに「まこと」という意味で、自分自身に向けた言葉であり、「敬・愛」は他人に対する言葉で「うやまい、いくつしむ」とことです。すなわち、「自利利他」自分をみがき、その利を他におよぼすということでした。今も理解されていた卒業生が多く教育の大切さを痛感致しました。

この用賀の地に移り四十数年が過ぎ、今日初めて来ましたと挨拶された諸先輩が多かった。また、当時の面影が懐かしく思われたこととされます。体育館が建ち、「人工芝だぞ」という声も聞こえました。皆さんのお陰で施設が整い生徒は

伸び伸びとした三年間を過ごしています。「行することの大切さ」を学び、学力のみならず、昨年の全国大会出場はサッカー部、バスケットボール部女子の活躍は、誇らしく思います。応援ありがとうございました。ベスト十六とすばらしい結果でした。あのメガホンを通して駒大高校の名を全国に発することができました。これも一重に皆様の常日頃の温かいご支援の賜です。

また、今回は学校への記念品として軽自動車をご贈りいただきました。種々の教育活動に大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

これまで高校の教育を支えてこられた諸先輩方のご苦労と共に、同窓生の皆さま方の社会での活躍によって、本校の信頼と評価が高められてきたことに深く感謝申し上げます。平成七年に共学となり、男子校時代の方にはどこか違和感とともに一抹の寂しさを感じておられる向きもあるように伺っています。しかし、新しいエネルギーが同窓会に注がれることで、ますますこれからの発展が期待されています。そして、表面的には変わつたように見えても仏教学校の精神で一本筋が通つたものであることを改めて認識し、先輩諸氏の名前に恥じないよう「生きる」ことのすばらしさを伝え、有為な人材を世に送り出す学校として責務を果たして行きたいと考えています。どうか今後とも温かく見守って頂きますようお願い申し上げます。

卒業生の益々のご活躍と駒大高校同窓会の発展を祈り、お祝いと感謝の言葉と致します。

数学担当 中島勝彦

この度、本日は駒澤大学高等学校同窓会創立六十周年記念総会おめでとうございました。

また永年勤続四十年の表彰で記念品をいただき誠にありがとうございました。

学校では毎月生徒に「禅の友」を配布しています。十月号を読んでおりましたら「特集」国を超えて「ハワイの布教で見たこと感じたこと」という記事が掲載されていました。その記事を書いた人の写真と名前を見た時、自分の最初の卒業生であることに気付きました。在学当時を懐かしく思いながらその文章を読み返しました。彼の名前は二十六年卒業の吉田宏得君で静岡県から上京して世田谷区内にある豪徳寺で修行をし、お寺のお手伝いをしながら通学していました。豪徳寺は大きな寺院で日曜日のたびに法要が入っており、なかなか自分の時間が取れなく大変苦労する中で勉学に励み駒澤大学仏教学部に入學しました。その後、まったく音信不通でしたが「禅の友」を通して吉田君の活躍を知ることができ胸が熱くなりました。

卒業生の中にはいろいろな分野で自分の能力を発揮して活躍されている方が大勢います。先日テレビを見ていたら

卒業生で現在もミュージシャンとして活躍している大沢善志君の歌を聞きましる生徒です。在学中から、ハスキーな声で修学旅行のバスの中で歌っている姿を思い出します。

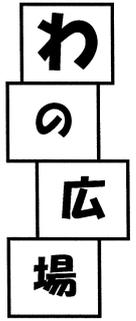
大学生の時レコードデビューして以来ミュージシャンとしてまた他の人の曲を作ったりして活躍しています。学校の文化祭でのライブをお願いしたいと思いつながら実現できなかったことがとても残念です。

式典終了後の懇親会では多くの卒業生と話をして楽しい時間を過ごすことができました。その中に兵庫県丹波市から来ていた不破君にも会えて大変うれしく思いました。

このように創立六十周年記念式典を通して多くの卒業生と懇親でできたことに感謝しております。これからも駒澤大学高等学校同窓会がますます発展することを願っております。



会員だより



同窓会六十周年記念総会

【短冊特集】

吉富 勝一 第一期 住所：埼玉県所沢市
 駒澤大学高等学校同窓会創立六十周年記念総会・式典と懇親会。全ての企画に携わった皆さんに心から御礼を申し上げます。

昭和二十三年新制高校進学に入学、高名な諸先生に叱られつつ母校を巣立ち、父親を亡くし、即実社会に飛び込み、世の荒波を泳ぎ続け、現在七十八歳。

母校の発展を知り、往時を思い出し、校歌を高唱。大変に活力をもらいました。ありがとうございました。

谷口 法山 第三期 住所：北海道中川郡
 駒大高同窓会創立六十周年おめでとうございます。

訪校する毎に隆盛の姿に接し、感激と感動を覚えます。

今後も益々のご発展を常に祈念致します。

岡野 健一 第九期 住所：群馬県藤岡市
 校舎は渋谷でした。同窓会は二回目の出席です。

五十年以上、前の卒業ですから、今、浦島・・・です。

お蔭様で古希を迎えても健康で、なつかしい同級生に会えることは、この上ない「幸福」です。

この次の開催も楽しみにしていますので、よろしくお願ひ申し上げます。

長坂 孝一 第十期 住所：世田谷区下馬
 創立六十周年おめでとうございます。

私達の校舎は渋谷でしたので、用賀の校舎は始めです。

七十歳になりましたので元気な内に、皆様にお会いしようと思いましたが、

向井 三陽 第十期 住所：埼玉県さいたま市
 全日本写真連盟埼玉SKP支部の支部長を担当、余生を楽しんでいます。

本日、大変お世話になりました。恩師の森川先生に拝顔でき、また同期の関根

君と長坂君に会うことができ、嬉しく懐かしく思いました。

渡邊 健吉 第十一期 住所：世田谷区等々力
 当日C組クラス会を行いました。出席者十五名の内六名が同窓会にも出席し大変なつかしく思いました。

駒澤大学高等学校同窓会が益々発展します様協力いたします。

小林 悟 第十七期 住所：埼玉県比企郡
 六十周年記念総会に出席させていただきました。四十数年ぶりに、英語科の羽住先生にお会い出来て感激いたしました。

先生の英語によるお授業が私に感動を与え、私立高校の教員になり、三十年間退職するまで勤め上げることができました。

どうもありがとうございました。

角海 正 第十八期 住所：川崎市多摩区
 本日四十年振り駒大高正面玄関に立ちました。「晴れたりこの空 この我が駒澤」まさに校歌そのもの、記念式典会場では中央に帽子に付いていた校章でもあった法輪が輝く、我ら同窓、燃えよフアイト駒大健児。

準備役員の方々におかれましてはたいへんご苦勞様でございました。感謝いたします。

小林 勇人 第三十期 住所：大田区仲六郷
 (短冊無記入)

長 義弘 第三十一期 住所：埼玉県さいたま市
 卒業以来、ほぼ三十年。

変わらぬ学校に、ほっとしました。

須田 研也 第三十六期 住所：世田谷区奥沢
 駒大高校でお世話になってから、四半世紀が経過し感無量です。

今後もお世話させて頂きます。

玉川 典嗣 第三十七期 住所：千葉市稲毛区
 六十周年おめでとうございます。

(住所変更しました)

久保 勝重 第四十期 住所：川崎市宮前区
 平成二年に卒業以来、約二十二年ぶりに母校を訪れ、恩師とお会い出来感動しました。また、次回お伺ひしたいです。

高橋 康男 第五十三期 住所：埼玉県越谷市
 なつかしい面子に会えて嬉しいです。

大石 美幸 第五十八期 住所：川崎市高津区
 創立六十周年おめでとうございます。

私は卒業してからまだそんなにたっておりませんが、思い出が沢山あるので、これからもどんどん仲間が増えてくれる事に期待しています。

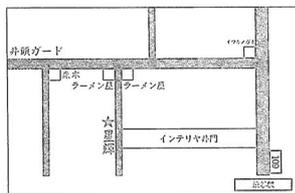
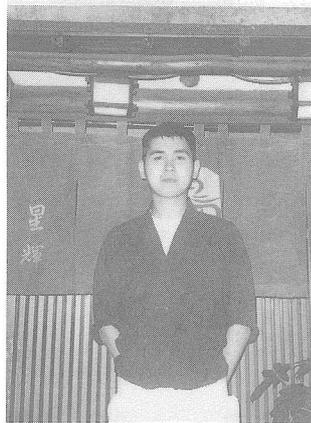
会員訃報

- 一期 桂三 渡辺
- 一期 鏡玄 吉村
- 一期 義明 山下

同窓生のお店

渋谷 割烹

星 輝



井の頭線「渋谷駅」の工事でも進み随分ときれいになった。西口も新たにでき便利になった。その西口をでて一分の所にこの『星

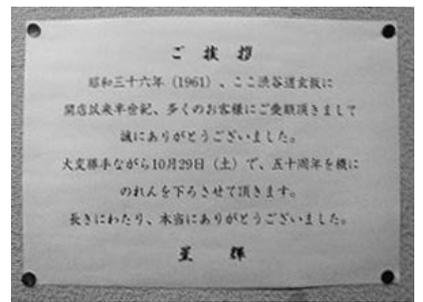
輝』がある。ハチ公前からも徒歩二分位である。細長い店構えで、カウンター席が八席、小座敷と二階に十名程入る部屋がある。厨房を一手に引き受けているのが星 真さん(三期五期I組)である。母親と一緒に経営をしている。彼の父親も同窓生(二期生の星 勝夫さん)であったが、四年前に他界した。得意な料理は日本料理で焼き物、生物、煮物すべてよしである。特に新鮮な魚介類の刺身は絶品である。

高校卒業後専門学校に進み、基本技術を身につけたあと、新橋の料理屋で六年間修業して店を継いだ。三代目である。彼は「美味しいものを提供して、お客さんによるこんでいただくのが一番嬉しい。」という。

この店には先代とのつながりで同窓会の役員がよく行く。常連としては秋山名誉会長・田上・真田両副会長等である。

同窓新報第27号5頁掲載記事

渋谷で営まれていました『星輝』が平成23年10月29日閉店しました。会員の皆様にお伝えします。



『同窓会創立六十周年記念総会』 会長挨拶

本日は、お忙しい中ご出席をいただきまして有り難うございます。

又、学校法人駒澤大学 須川 法昭理事長をはじめ梅檀会、一如会、校長のご出席をいただき有り難うございます。

本日ここに六十周年記念総会を開催出来ず事は、諸先輩方々のご支援、ご協力の賜物と感謝致しております。

一口に六十周年と言いますが半世紀を過ぎてこの間には、いろいろとご苦労があったと推察しております。特に同窓会の土台を作られた本日ご出席頂いている秋山先生のご尽力に深く感謝いたします。

卒業生も今年で二万五千九百二十二人を数えております。ご存知の通り同窓会は母校の発展・同窓会の親睦を図るという事で活動を行っておりますが、同窓生の親睦を図るという点では、クラス会、OB・OG会開催にあたって助成を行っております。母校の発展という点では校友会各クラブに助成をしております。また、在校生には、幅広い知識をもってもらえる様文化講演会をこの十月十五日に元サッカー日本代表の 名波 浩 氏にお話をいただきました。この文化講演会は、大学・高校を卒業して社会で活躍されている方に講演をしていただくという発想のもとに開催をしておりますが講演者に限りがあり中断しておりますが今回加藤先生のご尽力により開催する事ができました。この文化講演会は今後も継続していくつもりです。

今後、卒業生がふえていくなかで、本会も今以上に充実をしていかねばと考え

ております。その一つに同窓会相互の憩いの場として今後も同窓新報の紙面充実とホームページの情報更新を随時行う事で、スピーディーに情報を開示出来る様作業を進めて行く所存です。

今後共、同窓会諸氏、学校関係者の更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。



同窓会60周年記念総会 寄附者御芳名

(敬称略)

- 三憲 郎明 一雄 和奎之山 一洋子 美一優
- 彰康 新治 由恒 貞孝 敏法 洋 和捷 隆
- 山谷 倉倉 木木 崎住 山口 井井 場中 藤
- 秋大 白妻 高鈴 岩羽 浦谷 澤貫 貫馬 田伊

会 会
会 会
城南印刷工芸株式会社
駒澤大学高等学校

(順不同)





平成二十三年十月二十三日(日)、駒澤大学高等学校にて創立六十周年記念総会が開催された。

宮田利徳名誉役員(十五期)司会のもと、新館地下ホールにて記念式典が行われた。

開会の辞に始まり、妻倉由明同窓会長(十六期)による挨拶があり、ご祝辞を駒澤大学理事長須川法昭氏と駒澤大学高等学校校長鈴木貞雄氏から頂いた。

六十周年記念品として、同窓会より高等学校へ公用車を寄贈した。

永年同窓会へご尽力頂いた、田上太秀相談役(四期)と眞田治孝名誉会長(五期)に学校側より感謝状が贈呈され、田上相談役からお礼のお言葉を頂いた。

永年勤続者記念品贈呈では、鈴木貞雄校長、二瓶要功教諭(国語)、中島勝彦教諭(数学)に贈られた。いずれも四十年で中島勝彦教諭より代表挨拶を頂いた。

閉会の後、落語家三遊亭王楽(家人一夫・四十六期)による記念公演が行われた。

三遊亭王楽氏は過去に文化講演会で公演して頂いたことがあり、今回も大変好評であった。

会場を小体育館に変え、懇親会が行われた。

鈴木俊孝庶務(二十五期)が司会を務め、秋山彰三相談役(一期)の挨拶・乾杯の号令で歓談・会食となった。

歓談中には同窓生や特別会員にマイクを向けて、思い出話を語って頂いたり、久しぶりの仲間との会話が弾む方々、年配と若手の交流や母校での昔話など楽しく賑やかな時間となった。

最後は全員で校歌を斉唱し、記念総会は閉会となった。

母校の発展とともに、同窓会ももっと多くの中間層・若手が積極的に参加し、活発な活動をしてゆけるように願っている。

(おおさわ)

校友会だより

駒澤大学高等学校掲示板なめ読み

平成二十三年(二〇二一)入試合格実績

駒澤大学(推薦) 三五九名
駒澤大学(一般) 一三名

東京学芸大学 一名

横浜市立大学 一名

早稲田大学 二名

慶應大学 一名

東京理科大学 一名

明治大学 七名

青山学院大学 三名

立教大学 二名

中央大学 一名

法政大学 三名

明治学院大学 六名

東京女子大学 一名

日本女子大学 一名

防衛医科大学校 一名

帝京大学(医) 一名

明治薬科大学 二名

陸上競技部

関東高校選抜出場権獲得

1 L 梨本 侑季

女子3000m東京都大会第3位

バスケットボール部女子

関東大会出場権獲得

(東日本大震災のため大会中止)

メンバー

3 B 河野 慶子 3 H 金田 沙彩

2 C 田戸 郁乃 2 J 小澤 景子

3 B 田中真美子 3 H 山崎聖里可

2 D 伊藤 恵理 1 K 黒須 桃加

3 D 岩見 知里 3 J 井坂ひかり

2 G 小川 詩歩 3 D 豊泉 由樹
3 J 西山 樹 2 G 渡辺 未来
3 F 齊藤 摩妃 3 L 田名網優妃
2 H 大平 玲奈 2 H 鈴木 裕子

体操競技部

関東大会出場権獲得

(東日本大震災のため大会中止)

メンバー

3 G 川口 智也 2 D 鈴木 優輝

3 K 太田 弘紀 2 L 鳥取 宏彬

2 B 山際 爽志 1 E 森 陽史

東京都団体総合第2位

バレーボール部男子

関東大会出場

平成二十三年六月四日〜平成二十三年六月五日・東京都・神奈川県

メンバー

3 C 川原 駿介 3 H 伊藤 佳祐

2 C 木村 福星 2 F 星野 智哉

2 K 平田 旭 3 G 浅井 裕也

3 H 山崎 一光 2 E 奥井 竣太

2 I 鈴木 一郎 3 G 苗川 凌士

3 I 土屋 祥矢 2 E 栗田 昌彦

2 J 高橋 幸佑

剣道部

関東大会出場

平成二十三年六月四日〜平成二十三年六月五日・東京体育館

メンバー

主将 3 J 草深 直也

3 D 遠藤 晴義 3 K 浅谷 勇介

2 G 能上 竣寛 3 B 谷田 部桂

3 B 浅井 洋祐 3 G 野村 祐希

男子団体

男子団体

ソフトテニス部

関東大会出場

平成二十三年六月三日〜平成二十三年六月五日・埼玉県狭山市智光山公園

メンバー

個人

2 D 河野 翔星 組

2 E 佐藤 剣太 組

2 A 浅羽 陸 組

2 D 関根 和也 組

3 E 榎本 悠介 組

2 D 松下 将宏 組

団体

3 B 尾上 直紀 3 J 野中 英佑

2 D 石井 雄大 2 J 栗花 広大

3 B 服部 直樹 3 J 矢作 守

2 E 桑田 裕貴 3 E 榎本 悠介

2 A 浅羽 陸 2 E 佐藤 剣太

陸上競技部

インターハイ出場

平成二十三年八月三日〜平成二十三年八月七日・岩手県北上総合運動公園

3 C 宮下 紘一

3000m障害関東大会第1位

サッカー部

サッカークラブ

第九十回全国高校サッカー選手権大会・都予選Bブロック準決勝が平成二十三年十一月六日東京都北区西が丘サッカー場で行われた。

駒大高校は国学院久我山と対戦し二〇で敗退。

吹奏楽部

第五十一回都吹奏楽コンクールの中

学・高校の部が平成二十三年九月十一日東京都杉並区普門館で行われた。

高校十二団体が出場し、駒大高校は金賞に選ばれた。

野球部

夏の第九十三回全国高校野球選手権東大会にて百五十チームが参加。駒大高校はベスト十六チーム入りする。

駒大高校は駒込学園と対戦し三二で敗退。

秋季都高校野球大会はブロック予選を勝ち上がり、駒大高校は四十八チーム入りする。

駒大高校は日大豊山と対戦し七〇で敗退。

生徒会

全校生徒が募金を募り、わずかながらではありますが二〇〇、一九八円の義援金を、現在、東北で活動する曹洞宗のボランティア団体「SVA(シャントイ国際ボランティア会)」に送らせていただきました。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、被災した高校生への柔道着・物質の支援、節電などを行っています。

駒大高祭

平成二十三年十月一日、二日に開催されました。

林間学校

平成二十三年七月十八日〜二十一日三泊四日で実施

高力 氏森林メデイカルトレーナーによる講演会

コース別体験学習「カヤック(野尻湖) ラフティング(千曲川) シップアドベンチャー(斑尾高原) マウンテンバイク(黒姫高原) 林業体験/森林セラピー(絆の森・黒姫高原) ゴルフ(妙高高原)」

ウォークラリー(戸隠森林植物園)

記念植樹(絆の森)

第46号送付住所不明者一覧

Table with columns for issue number, name, and address. It lists members whose mail was undelivered in issue 46, including names like 谷幸一, 佐藤幸一, and 山崎幸一, along with their respective addresses.



八転七起
立って歩くこと。もし体に何か理由があれば別だが歩くことは誰にでもどこでも出来る一番簡単な身近な自分だけの全身運動。

歩くことは冒険の始まり。見知らぬ地に立ち入りすればその一歩が心躍る。二歩目は慎重に気を引き締め次々と歩を進めれば魅力の虜に包まれていく。

日常をもっと自由に歩く。それは新しい発見に遭遇できる自分だけのこ褒美。それなのに去年三月十一日を境に言葉にならない無形の何かが芽吹いて、身にも心にも影を落とす。声を大に張り上げても嫌に釘。なお、当てるが外れる。でも、基本の歩くことを奪い止めるなど出来る訳がない。もう過去は教訓に取りまとめ、これからは事を興すとキッパリ。きつかけも遣えばそれぞれ違う道でも良いし、それぞれ違う歩幅で歩き出そう。素晴らしい未来に向かって歩き出そう。過去があつて今があれば未来は全て初めて。皆さん、笑う門には福来る。未来の門の扉を開けて一歩を踏み出そう。

紙面も一新しました。内容は温故知新ですが今年スタートです。(あらい)

同窓新報第四十六号にて発送し返却された方のリストを掲載させていただきました。手続きで手違いもありますが改めて整理手続きに会員の皆様のご協力を得たく心当たりが有りましたら電話あるいはFAXで同窓会事務局にご連絡ください。

電話(03)3700 6131(代表)
FAX(03)3700 7291(同窓会専用)
にお願います。

駒澤大學高等學校同窓会

